

 <p>千葉開府 Road to <b>900</b> since 1126</p>	<p>平成 29 年 10 月 18 日 【教科等の指導、今後の取組等に関わること】 教育委員会事務局 学校教育課 教 育 指 導 課 電話 245-5936 内線8136 【全国学力・学習状況調査の結果、データの分析に関すること】 教 育 セ ン タ ー 電話 285-0905</p>
--	--

## 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

千葉市教育委員会では、平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

### 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともにそのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

### 2 調査の実施と内容

- (1) 調査実施日  
平成 29 年 4 月 18 日(火)
- (2) 実施校・対象学年・実施者数  
小学校 111 校 6 学年児童 8,109 名、中学校 55 校 3 学年生徒 8,097 名
- (3) 調査内容  
ア<教科に関する調査> (国語、算数・数学)

主として「知識」に関する問題 (A 問題)	主として「活用」に関する問題 (B 問題)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li> <li>・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力</li> </ul>

#### イ<質問紙調査>

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (小学校 92 項目・中学校 94 項目)	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等の状況に関する調査 (小学校：111 項目、中学校：109 項目)

### 3 調査結果概要について

#### (1) 教科に関する調査結果

ア 全国、千葉県、指定都市の平均正答率 (%) と千葉市全体の結果 (別添概要の p.1~p.3)

小学校 6年生	国語A	国語B	算数A	算数B
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)
千葉市	76	59	78	48
全国	75	58	79	46
千葉県	75	57	77	46
指定都市	75	58	79	47
全国との比較	1	1	-1	2

  

中学校 3年生	国語A	国語B	数学A	数学B
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)
千葉市	77	72	64	49
全国	77	72	65	48
千葉県	76	72	63	47
指定都市	78	73	65	49
全国との比較	0	0	-1	1

※指定都市の値は公表された各指定都市平均正答率の平均値

## イ 本市の調査結果に見られる特徴

### ① 平均正答率より

- ・本市の小学校6年生は、国語については、A・B問題ともに全国の平均正答率を1ポイント上回る。算数については、A問題は1ポイント下回り、B問題は2ポイント上回る。中学校3年生は、国語については、A・B問題ともに全国の平均正答率と同等である。数学については、A問題は1ポイント下回り、B問題は1ポイント上回る。
- ・本市の小学校6年生・中学校3年生は、いずれの教科（国語、算数・数学）・問題区分（A問題・B問題）においても、千葉県平均正答率と同等か上回る。
- ・平成20年度からの悉皆調査7回の経年比較をみると、全国の平均正答率との差は縮まりつつある。

### ② 正答数の分布（別添概要のp.4～p.7）

- ・小学6年生、中学3年生ともに、国語、算数・数学、いずれの教科・問題区分（A・B問題）において、全国とほぼ同等の分布を示している。

### ③ A・B問題相関分布と経年推移（別添概要のp.8～p.11）

- ・小学校国語はA問題よりB問題に課題がある学校が増えたと考えられる。小学校算数はA・B問題のどちらかに課題がある学校が増えたことが分かる。
- ・中学校国語は比較的座標の中心近くに学校が集まっているが、中学校数学は横に大きく広がり、学校により、基礎的な知識の定着に差があることが推測される。

## (2) 児童生徒に対する質問紙の調査結果（別添概要のp.12～p.21）

### ア 「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたい」

児童→40.1%（全国33.6%より6.5ポイント高い）

生徒→40.5%（全国32.9%より7.6ポイント高い）

### イ 「5年生までに（1・2年生のとき）受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う、どちらかというと思う」

児童→86.2%（全国88.7%より2.5ポイント低い）

生徒→81.9%（全国80.3%より1.6ポイント高い）「書いていたと思う」だけでみると46.6%（全国47.6%より1.0ポイント低い）

### ウ 「5年生までに（1・2年生のとき）受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う、どちらかというと思う」

児童→72.5%（全国76.2%より3.7ポイント低い）

生徒→59.9%（全国66.1%より6.2ポイント低い）

### エ 「学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日あたり2時間以上勉強する」

児童→31.2%（全国27.1%より4.1ポイント高い）「全くしない」は3.7%（0.8ポイント高い）

生徒→39.7%（全国35.4%より4.3ポイント高い）「全くしない」は5.9%（1.0ポイント高い）

### オ 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたり3時間以上勉強をしている」

児童→17.4%（全国12.2%より5.2ポイント高い）「全くしない」は10.0%（0.3ポイント高い）

生徒→25.5%（全国17.8%より7.7ポイント高い）「全くしない」は11.7%（1.7ポイント高い）

## 4 別添概要に公表されている図表一覧

- (1) 問題別平均正答率一覧(%) [全国・千葉県・大都市・千葉市] <平成20～29年度>
- (2) 教科別経年比較グラフ [全国・千葉市] <平成20～29年度>
- (3) 正答数分布 [全国・千葉市] <平成29年度>
- (4) 市内学校A・B問題平均正答率の相関分布図<平成28・29年度の比較>
- (5) 全国平均正答率との差異から見る各学校の経年推移表<平成28・29年度の比較>
- (6) 平均正答率の顕著な向上が見られた学校の取組事例<経年推移の比較から>

(7) 児童生徒質問紙調査より [千葉市・全国] <平成 29 年度>

[将来の夢や希望、外国に対する興味・関心]

- ・将来の夢や希望
- ・将来の留学や国際的な仕事に就くこと

[学び方に関する意識]

- ・ノートに目標とまとめを書くこと
- ・学習を振り返る活動
- ・課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動

[言語活動に関する意識]

- ・学校の授業以外の読書
- ・400 字詰め原稿用紙 2～3 枚の感想文や説明文を書くこと

[主体的・対話的で深い学びに関する意識]

- ・自分の考えを説明したり文章に書いたりすること
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表すること
- ・話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること
- ・話し合う活動

[家庭での学習に関する意識]

- ・学校の授業の復習
- ・授業時間以外の学習時間
- ・学校が休みの日の学習時間

[家庭での生活に関する意識]

- ・ニュースを見るか
- ・携帯電話等の使い方、家の人との約束
- ・家の中の学校行事への参加

[地域との関わりに関する意識]

- ・地域や社会の問題や出来事への関心
- ・地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機会

## 5 今後の取組

(1) 児童生徒の確かな学力の育成・定着を図ることができるように、教員の指導力を一層高め、「わかる授業」を推進していく。そのために以下のような取組を行う。

ア 本市の課題改善に資するデータと、指導改善の方向性やポイント等を示し、研修会や学校訪問等で指導・助言を行う。

イ 各学校における児童生徒の実態や分析結果を基にした校内研修等の充実を図り、授業改善が推進するよう指導する。

(2) 「教育だよりちば」やWeb 等を通して、家庭での児童生徒の望ましい生活習慣の在り方や家庭学習の大切さを広く市民に発信する。

## 6 公表日及び公表方法

(1) 公表日 平成 29 年 10 月 18 日 (水)

(2) 公表方法 市 Web ページ

URL:<http://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushido/26gakuryokutyousa.html>